



すくすく No.62

令和3年 6月

あじさいの鮮やかな色が、目をひく季節になりました。この時期は気温の変化が激しく、体がその変化についていけず、体調を崩してしまいがちです。汗をかいたらタオルで拭く、肌寒くなったら上着を着るなど脱ぎ着しやすい服装をして、体調管理に十分気をつけて下さい。

6月4日～ 歯と口の健康週間！

ものを食べるのに欠かせない「歯」。乳歯が虫歯で抜けてしまうと、食べることに支障が出るため、体の成長にも影響します。小さいころから歯みがきの習慣をつけて、歯を守りましょう。

また、歯医者さんは歯を守る強い味方です。歯がきちんとみがけているか、虫歯はないかなど、歯のトラブルを予防するために、お子さんといっしょに家族で定期的に歯科検診を受けるのもおすすめです。

虫歯はこうしてできる！

①糖分をもとに ブラークができる

口の中の糖分をもとに虫歯菌が繁殖し、ネバネバとしたブラークを（歯垢）をつくりまします。

②虫歯菌が酸を出す

ブラークの中で虫歯菌が糖分を取り込み、酸性の物質を出します。

③酸が歯を溶かす

虫歯菌の出す酸が、歯の表面を溶かし、やがて歯に穴が開いて虫歯になります。溶けた「初期虫歯」なら歯磨きをしっかりとすることで、本格的な虫歯に進むのを防げます。



予防接種を受けましょう

予防接種は、自分が病気にかかるのを防ぐだけでなく、人に感染させてしまうことや園や職場全体にその病気が蔓延するのを防ぎます。

また、病気にかかったとしても、重症化するのを防ぐ場合もあります。

気をつけたい
副作用

注意

- ・けいれんを起こす
- ・おう吐
- ・頭痛

いつ受ければいいのか？

母親からもらった免疫が薄れてくる時期や、その病気にかかりやすい年齢、病気が重症化しやすい年齢などに応じて受ける必要があります。病気ごとに定められた期間内に接種することが大事です。

すくすく 6月号の裏面に予防接種の一覧があります。ご確認ください。

予防接種を受けた日は

接種後30分は医療機関で様子を見るようにします。接種した部分の異常なはれや発熱、発しんなどがなければ、特に安静にしている必要はありませんが、過度な運動は避けましょう。

～すくすくハウスのひとコマ～

すくすくハウスには、本格的な大工さんごっこを楽しめるテクノ ツールボックスというおもちゃがあります。そのおもちゃで遊んでいたM児は、見本の図を見ながら「あ！ここに赤い部品入れてない！」と細かい部品が入っていないことに気付き、自分の作りたい物を完成させていました。

最初は平面の物でしたが、作るのが楽しくなり最後には立体の車を作り上げていましたよ！



～感染症情報～ つちだ小児科

RSウイルス感染症…先月は83名。先々月末から金津町の一部の保育園で増え始め先月一気にブレークしてしまいました。昨年は流行しなかったため今回は例年以上の流行になりそうです。症状は咳や鼻水、鼻閉など、かぜの症状で始まりますが、しだいに咳がひどくなりゼイゼイと苦しそうな息になってきます。途中で中耳炎になることも多いです。6ヶ月未満の赤ちゃんに感染すると、呼吸困難になって重症になりやすいです。

胃腸炎…先月は18名（細菌性腸炎はゼロ）。突然吐き始め続いてひどい時は熱もでて便秘ゆるくなる子が多いようです。一部の保育園で流行しています。

溶連菌感染症…先月は4名。一部の保育園で流行があったようですが感染は広がっていないようです。

アデノウイルス感染症…先月は8名。アデノウイルス感染症は夏かぜの代表格です。一部の保育園で季節外れの流行があるようですが感染は広がっていないようです。熱は高熱のことが多いですが4～5日でさがります。

水痘…先月は2名。ワクチン接種してありましたのでお二人とも軽く済みました。

ヘルパンギーナ…先月は発生なし。**伝染性紅斑**…先月は発生なし。

手足口病…先月は1名だけ。まだ流行していません。

ヒトメタニューモウイルス感染症…先月は発生なし。

マイコプラズマ感染症…先月は発生なし。

百日咳…先月は発生なし。**おたふくかぜ**…先月は発生なし。

麻しん・風しん…妊娠適齢期の方、風しんにかかったことのない方、風しんの予防接種を受けていない方（30代から50代の方）は抗体検査のうえ予防接種をお勧めします。

つちだ先生からの一言

先月から新型コロナワクチン接種が始まりました。当院職員も医療関係者枠で一足先に2回接種をすませました。ワクチンが済めば感染の心配がなくなる訳ではありませんがひと安心です。坂井市は7月中に65才以上の高齢者ワクチンをおえて、8月には若い方対象のワクチンも始まる予定です。その前に大学や職場でのワクチン接種も始まるそうです。アナフィラキシー等の大きな副作用は極めて稀みたいですので、できるだけ沢山の方に接種を受けて頂きたいと思います。



福井県新型コロナウイルス情報

※つちだ小児科ホームページでは、毎週最新の感染症情報「流行っている病気」をお届けしています。感染症情報に加えて、感染予防対策についても書いているので、一度覗いてみてください。

ワクチンの種類 (定期接種)	接種時期と回数	
BCG	・生後 3 か月以上～6 か月未満	1 回
四種混合	・生後 3 か月～12 か月 ・12 か月～18 か月の間	3 回 追加 1 回
日本脳炎	・Ⅰ期：生後 6 か月～7 歳半未満 ・Ⅱ期：9 歳中に	3 回 1 回
MR ワクチン	・生後 12 か月～24 か月未満の間 ・5～6 歳の間	1 回 1 回
水痘ワクチン	・1 歳以上 ・2 歳未満に	1 回 1 回
ヒブワクチン	・生後 2 か月～5 歳未満 (初回接種の時期により回数は異なる)	
HB ワクチン (B 型肝炎)	・生後 2 か月 ・1 回目の接種終了の 4 週間後 ・2 回目の接種終了から 5 か月～6 か月後	1 回 1 回 追加 1 回
小児用肺炎球菌 ワクチン	・生後 2 か月から 9 歳以下 (初回接種の時期により回数は異なる)	
ロタウイルス	・生後 6 週間から 24～32 週まで (ワクチンにより異なるので医師にご確認ください) ※2020 年 8 月 1 日以降に産まれた方対象に任意接種から定期接種に移行しました。	2～3 回

ワクチンの種類 (任意接種)	接種時期と回数	
おたふくかぜ	・1 歳以上で ・5～6 歳 (年長の間)	1 回 1 回
インフルエンザ	・生後 6 か月から可能	毎年 2 回

※異なるワクチンの接種の間隔が 2020 年 10 月から変更になりました。
体調の変化などで予定通りに進まない時や接種スケジュールが分からない時には、
かかりつけ医などに相談しましょう。

